



よりよい明日を、世界の人々と。

独立行政法人 国際協力機構

PRESS RELEASE

■内容についてのお問い合わせ

JICA 中国 独立行政法人 国際協力機構 研修業務課
〒739-0046 広島県東広島市鏡山 3-3-1 ひろしま国際プラザ内
TEL:082-421-6310 FAX:082-420-8082 HP: www.jica.go.jp/chugoku/
担当:奥田(おくだ) Okuda.Hisakatsu@jica.go.jp

全2枚

【取材検討依頼】

アフリカ人教師による日本の小学校での理科・算数授業の実施

(平成25年度 課題別研修「アフリカ地域 初等理数科教授法改善B」コース)

2014年1月29日

今年も、アフリカ全土から岡山に集まった12名の研修員が、2月21日(金)に予定している岡山市立伊島小学校での実際の算数および理科の授業の実施に向けて、2か月間にわたって授業方法の研究に励んでいます。

昨年6月に横浜においてTICAD Vが開催されましたが、その中では持続可能な社会の建設に向けて取り組むことが話されました。基礎教育、特に理数科は、社会の発展や経済開発の根本となる重要な課題です。そこで、会議の後に発表された「よこはま宣言」でも基礎教育が柱の一つとして取り上げられました。

JICAでは毎年、岡山大学において、アフリカ諸国の小学校における理数科教育の質の向上を目的とした研修を実施しています。

<研修実施背景及び概要>

現在、日本の協力によりアフリカの小学校における理数科教育の改善が本格的に進められています。その背後には、岡山県で毎年2ヶ月間、アフリカの小学校の教員や教育委員会の教育主事に相当する役職である研修員たちが、「学習者中心」の授業を中心に日本の授業研究の方法やこれらを普及するための教員研修システムなどを学んでいる姿があります。

岡山大学教育学部では、初等教育において、先生からの一方的な知識の詰め込みではなく、子供が自分で考えることを重視する「学習者中心」の授業の普及に向けて取り組んでいます。JICAでは、岡山大学と連携して、アフリカの小学校教育に「学習者中心」の授業方法が取り入れられることを期待しています。

実際に、研修員が来日する前に作成した授業指導案の内容から、来日後に「学習者中心」の授業が行われているクラスの見学やその後の授業研究、研修員同士での改善に向けたディスカッションなどを通じて、授業指導案の内容や授業の方法は大きく変わります。

約2か月間の研修の集大成として、2月21日(金)に岡山市立伊島小学校のご協力を得て、研修員は自ら6年生の児童を対象に理科及び算数の授業を行います。また、明日(1月30日(木))午前、伊島小学校において全校児童たちによる歓迎交流会が開催されます。

<研修員>

ナイジェリア、ニジェール、ザンビアから合計12名 招聘講師 南アフリカから1名

<岡山市立伊島小学校での算数と理解の授業>

日時：2014年2月21日(金)午前 (時間はお問い合わせください)

場所：岡山市立伊島小学校6年(クラスは未定)

<同小学校での交流歓迎会>

日時：2014年1月30日（木）午前8:30～ （終了時間はお問い合わせください）

場所：岡山市立伊島小学校体育館

また、ぜひ、研修員が日々、授業の改善に向けて練習に取り組んでいる姿についても取材をご検討ください（場所：岡山大学教育学部 305号室）

※前回昨年9月は撮影について小学校側のご了解を得ることができず、たいへんご迷惑をおかけしましたが、今回は事前にご了解を得ています。